

みなさんのアイデア紹介！

グループ名	新文化交流施設の情報発信手法やワクワク感醸成のための取り組みアイデア	・大ホールの音響の良さをPRできるイベント ・有名アーティストを連続して呼び知名度UP ・「Take」「TAKE」というワードを活用、カッコいい見せ方を ・LIVE配信(毎週同じ時間) ・「たけおんちゃんねる」利用者目線での発信
	現在の計画や開館後の運営に今後どんな立場で関わりたい？	現在の計画や開館後の運営に今後どんな立場で関わりたい？
まじ	◇現施設閉館前 ・現施設の不要備品オークションで興味を持たせる ・「閉館前ありがとうイベント」を施設利用者で開催 ・取り壊し前に普段できないことをイベント化(飲食、宿泊等) ◇開館前 ・建設中の現場見学を兼ねたイベント ・駅前広場でイベント ・検討経緯を映像化、雑誌化、見える化して発信 ・完成までの過程に触れて愛着を湧かせる ・「西九州の応接室」に代わる今風なキャッチフレーズ募集 ◇開館後 ・ポスター、チラシを複数設置で目に触れる機会を増やす ・新聞紙面広告、市報、市役所無線、SNSでイベント情報発信 ・文化会館ののぼりを立て「文化会館への道」を発信 ・イベントだけでなく、普段から来れる場所として発信する ・学生の居場所があることをアピール、若い人が目を向ける広報 ・年配の集まりにPRして口コミを広めてもらう ・有名人にPRしてもらう ・文化会館専用キャラクター、名物スタッフ ・企画募集「あなたの夢をかなえましょう」 ・どんなサークルがあるか興味ある人向け体験イベント	◇サポーターズ ・興味ある分野のイベントでタイミングが合う時に手伝う ・ジャンル毎にサポーターグループを作る ・託児サポーターが必要 ◇出会い、きっかけ ・ワークショップを定例化 ・サークル同士の融合、別のサークルの手伝い ・宣伝をかねてサークルの公開練習 ・既存サークルが積極的に運営に参加できる環境 ・活動の継続 ◇市民による施設PR ・移住者ツアーの案内係として文化施設を紹介 ・施設スタッフではなく市民が施設を案内 ・市民が積極的にレビューを書けるGoogleマップ活用 ・新しくなっていく過程をSNSで市民目線で伝える
	現在の計画や開館後の運営に今後どんな立場で関わりたい？	現在の計画や開館後の運営に今後どんな立場で関わりたい？
あら	新文化交流施設の情報発信手法やワクワク感醸成のための取り組みアイデア ◇ワクワク感 ・学校のクラブ等市内団体が工事中の壁に絵を描く ◇情報発信 ・文化施設専用の広報誌、文化施設専用HP ・モニター募集して意見を聞く ◇情報発信(外部) ・HP、SNS、ラジオ、ネット記事でイベント情報、利用方法発信 ・民生委員を通じて口コミ ・サークルごとに発信 ・ケーブルテレビ局で宣伝 ・ケーブルワんにミニコーナー設置 ◇アクセス ・催事日の臨時シャトルバス、タクシー ・のり合いバス、自家用車に相乗り	◇市民ボランティア ・外国語での翻訳、通訳ボランティア ・広報紙、ポスター、チラシetc、制作参加できます！ ・庭園整備ボランティア ・企画計画、当日運営、広報 ・市民ボランティアは単発が継続か ・体が不自由でもネットで運営に関わる ・介護福祉施設利用者を招待し市民ボランティアでフォロー ◇観光客 ・観光客もサークル活動に飛び入り参加、見学できる ◇情報発信 ・情報の発信元を一本化→文化会館広報担当
	現在の計画や開館後の運営に今後どんな立場で関わりたい？	現在の計画や開館後の運営に今後どんな立場で関わりたい？
おひな	新文化交流施設の情報発信手法やワクワク感醸成のための取り組みアイデア ◇市内小～高(美術部、デザイン科)や一般向け公募 ・施設ロゴのイラスト、ホール名称公募 ◇ココが大事！ ・若い世代の居場所ができることをPR ・これまでの活動を継続できることを高齢者に伝えて安心 ◇情報発信 ・年間行事表をつくるイベント ・イベント情報まとめた館内看板 ・九州オルレコースに→市外の人も建設中の様子を見れる ・建設～開館の見学イベント ・まち全体を使った開館イベントで盛り上げる ・館内ツアーで多目的ホールの使い方説明 ・開館記念品、もちまき ◇広報 ・市内外含めて広く広報 ・車運転する人向けラジオ ・ポスターや広報誌をひとが集まる場所に掲出 ・学校にプリント配布 ・広報誌で設計プラン公開 ・佐賀新聞で発信できる？	・ケーブルワンのCMで宣伝 ・youtube広告 現在の計画や開館後の運営に今後どんな立場で関わりたい？ ◇ボランティア・アルバイト ・ゲーム感覚で参加することにポイントゲット ・ボランティア掲示板 ・アルバイト、ボランティアなら学生も参加できそう ◇優しい施設づくり ・文化会館を楽しく使おう！の会 ・高齢者が入りにくならない雰囲気づくり ◇出品する立場として参加 ・アート・マルシェ展への出品 ◇広報ボランティア ・広報等の挿絵描ける ◇ココが大事！ ・市民目線で ◇その他 ・庭園の蔵に喫茶店 ・使用料金は安く ・中学～大学生が共に使えるホール ・バリアフリー、スロープには踊り場を
	現在の計画や開館後の運営に今後どんな立場で関わりたい？	現在の計画や開館後の運営に今後どんな立場で関わりたい？

TAKEOFF!

新文化交流施設エリアを考える市民ワークショップ 第2弾



新施設へのアピール方法と「新施設への関わり方を考えよう！」

令和6年3月3日(日)、武雄市文化会館にて4回目の市民ワークショップが開催されました。最終回のテーマは「新施設のアピール方法と施設への関わり方を考えよう！」

新文化交流施設をより多くのひとに知ってもらうための情報発信方法や、開館までのワクワク感を醸成するためのイベントアイデア、さらには開館後の市民ボランティアのあり方など幅広く議論していただきました。実際にどんなご意見が出たのか、紹介します！

情報発信の手法については、ウェブと紙媒体の両方を活用すること、ケーブルテレビを通して地元にも広くアピールすることなどが挙げられました。また、広報活動に力を入れるためには運営者に「広報部門」を設立すべきとのご意見も。さらに、ワークショップ参加メンバーからは、広報誌作成のお手伝いをしたいとの大変心強いお言葉もいただきました。皆さんの特技を活かしながらワンチームで新文化交流施設を盛り上げていきたいですね！

市民が気軽に参加できる機会を！

施設への参加方法に関しては、練習・発表などの活動の場として利用したいというご意見から、「ご自身の趣味や特技を活かして運営に携わりたいな」と、幅広い関わり方が挙げられました。また、固定メンバーではなく、市民組織を設立するのではなく、まずは事業ごとに単発ボランティアを募集すること、忙しい人も気軽に参加できるのでは？、といったご意見も頂戴しました。

参加のお礼

本ワークショップは、令和5年11月から始まり、約半年かけて4回開催し、幅広い世代の市民の皆さんにご参加いただきました。今回いただいた素敵なアイデアを参考に、管理運営計画策定に向けた検討を進めてまいります。これまでご参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました。引き続きご協力いただけますと嬉しいです！

広報部門を設立し、市民もお手伝い！

一人でも自分ごととして市民の方が関心を持ち、利用していただければと思いました。

本当に色々な意見が出て、ワークショップのよさが出ていると思った。

第1弾から3回参加させていただいたワークショップですが、2弾目は具体的な内容が多く今後自分がどう関わってゆくのコミュニケーションができました。

参加者の声

楽しい文化施設の完成を楽しみにしています。微力ながらお手伝いできることがあればお声がけ下さい。

新文化交流施設エリアを考える市民WSかわら版は武雄市ホームページにも掲載中です！